

親潮

oyashio 北水同窓会誌

第293号
平成21年度 第1号

北水同窓会 <http://hokusui.fish.hokudai.ac.jp>



特集 今日の努力で明日を拓く!

「勝つ就職」、その極意

学生発～ Hello!研究室

海と水産の情報を工学する(木村暢夫研究室)

追悼寄稿

親潮インフォメーション

退職のごあいさつ

CONTENTS [もくじ]

特集

今日の努力で明日を拓く！

「勝つ就職」、 その極意



学生発「Eeio」研究室
海と水産の情報を工学する
(木村暢夫研究室)

追悼寄稿

われらが誇る巨星 中部長次郎氏(17ギ)長逝さるー窪田光信(17ギ)
弦さん(29ギ)逝くー 郡山泰夫(30ギ)
竹田正之君(31セ)の死を悼むー 羽田野六男(31セ)
全日本レガッタエイト優勝クルーの一人 萩原義男君逝くー
シャイな反骨児 阿部俊郎君(45工)逝くー 小泉 守(32セ) 三弊英雄(32工)
内藤義和(44工)

親潮インフォメーション

退職のごあいさつ

高橋豊美(44工)
仲谷一宏(43ソ)
三浦汀介(45ギ)

編集後記

※同窓会便りは別冊となっております。

北水同窓会元会長 中部長次郎氏のご逝去を悼む



本会元会長中部長次郎氏(17ギ)におかれましては、平成21年3月11日急逝されました。享年87歳でした。

故人におかれましては、平成10年から14年にかけて本同窓会の会長を務められるなど、母校と本会の発展のために絶大なるご貢献をいただきました。幹事会一同は、氏から賜りましたご尽力に対して改めて敬意を表すべく、ここに特別囲み記事として速報し、会員の皆様とともにご冥福をお祈り申し上げます。なお同氏への追悼文を窪田光信氏(17ギ)より頂きましたので本誌8ページに掲載いたしました。記して感謝申し上げます。

北水同窓会幹事長 飯田浩二(51ギ)



今日の努力で明日を拓く！

勝つ就職

の極意



学生生活の大きな山のひとつであり、人生のターニングポイントとなる就職活動。時代とともに多少の変化はありますが、悔いのない選択をしたいと思う学生の気持ちに変わりはありません。今回は、それぞれに試行錯誤を重ね、未来を勝ち取るために全力を傾ける北水生たちの熱い姿をお届けします。



模擬面接で見えてきた

勝つ面接テクニック

「面接試験」は人間性や個性、コミュニケーション力をアピールする絶好の機会。面接を最重要視する企業も少なくありません。そこで、北水3年生の4人が、本番さながらの集団模擬面接に挑戦！今年の春に内定を勝ち取った先輩が、押さえておきたい面接時のポイントをそれぞれの経験を元にアドバイスしました。

〔模擬面接を受験した学生〕



清田 純平
海洋資源科学科3年
公務員志望



伊藤 健人
海洋資源科学科3年
研究職志望



達 絵璃子
資源機能化学科3年
食品会社志望



新谷 つつみ
資源機能化学科3年
食品会社志望

Q 自己紹介と自己アピールをしてください。

〔A〕伊藤 北海道大学水産学部海洋資源科学科3年の伊藤です。私は大学の寮に住んでおり、入寮選考委員会に所属していて、日々さまざまな入寮に関する議論を行っています。こうした中で培った話の流れやその場での自分の役割を把握する力を今後生かしていきたいと思っています。

Q 大学ではどのようなことを学びましたか。

〔A〕達 私は化学を中心に学んできましたが、実験などの中で化学的な知識と論理的な思考、応用力を身につけてきました。また、北海道大学水産学部では札幌と函館の2つのキャンパスで学ぶ機会があり、その中でいろいろな人間関係や環境の変化、新しい問題に出合った時に対処していける力をつけたと思います。

内定獲得者が教える
面接のポイント

「どんな話をするのにも自分の体験談は必要。それが説得力につながります。特に集団面接ではあまり細かく質問してもらえないこともあるので、限られた時間の中で具体例をどう盛り込んでアピールしていくかがカギです。事前の自己分析で、自分の経験や考えをまとめておきましょう」

内定獲得者が教える
面接のポイント

「研究職の場合はやはり研究内容に興味を持たれますが、営業職などは話の内容よりコミュニケーション能力を重視されることも。自分の志望職種に何が一番求められているのかを意識しましょう」

Q 卒業して社会に出たら、どんなことに取り組んでみたいですか。

【A】 達 私は食べることがすごく好きです。食べ物に栄養学的に必要ですが、食べることで心が豊かになったり、人とのコミュニケーションが活発になったりもすると思います。家族の食事の時間を豊かにしたり、人の心を豊かにできる食品を開発したいと思っています。

内定獲得者が教える

面接のポイント

「相手に自分の思いを理解してもらうために大切なのが筋道。話がねじれて何が言いたかったのかわからなくなってしまうよう、順序よく論理的に話す練習をしておくといいですよ」

Q 働く中で自分の理想に合わないことが起きた時、希望の部署に配属されなかった時、ピンチに陥った時、あなたはどうしますか。それぞれについて教えてください。

【A】 清田 理想と合わないことというのは人間ならどんな人でも毎日ぶつかることです。以前、部活の顧問に「意見が違ったり衝突があったとしても、やめるのは逃げることだ」と言われました。人間は話し合いができるので、話し合いで解決していけばいいと思います。

部署が希望と違うところに配属された時ですが、私は一生懸命取り組むと物事は

楽しくなるものと信じているので、まずはその仕事に精一杯取り組みます。

ピンチに陥った時は、人に頼ることも大切だと思います。助けってくれた人がピンチに陥った時には自分はその人のために尽くすという気持ちで、周りに助けを求めたいと思います。

内定獲得者が教える

面接のポイント

「面接でうまく振る舞える人イコール企業が採用したい人ということではありません。大切なのは面接官ときちゃんと「会話」をするということ。聞かれたことに答えるのは当たり前のことですが、これが何よりも重要になります」



Q 日々の生活や仕事をしていく上で、自分自身が地球温暖化防止にどのようなことで貢献できると考えますか。

【A】 新谷 最近、マイ箸やエコバッグのほか、自分の家から水筒などのボトルでドリンクを持ち歩くことが流行っていると聞きました。こういった意識を持つことが大切だと考えています。仕事では、廃棄物になるべく出さず、また廃棄物から作り出せるものがないかを研究することで温暖化防止につなげたいと思います。

内定獲得者が教える

面接のポイント

「面接の雰囲気は独特。面接官も年の離れた方が多く、緊張すると思います。親戚のおじさん、おばさんなど身近な方でいいので、意識して目上の方と接すること、慣れておくといいかもありません」

Q この4人が力を合わせると、どんな事業ができると思いますか。

【A】 伊藤 これまでの話では、新谷さんと達さんは食の安全を研究し、清田君は漁業の技術をアジアに広めたいということでした。私は資源管理を行いたいと思っています。これを総合して考えると、私が資源管理について考え、清田君に技術的な指示を出してもらい、衛生・安全面で2人にアドバイスをもらって、包括的なアジアの食に関する問題解決ができるのではないかと考えます。

内定獲得者が教える

面接のポイント

「集団面接では周りの話をきちんと聞いているかどうかポイントです。自分が発言している時以外の時間は、他の受験者の発言に耳を傾けましょう」

勝利のポイント ココもチェック！

- ✓ 見た目の印象は重要。服装だけでなく、目線、姿勢、表情も見られています。落ち着いた態度でぞみましょう。
- ✓ 声は大きく、はっきりと。相手を自分の話に引き込むためには、トーンのリハリやボリュームの強弱をつけることが効果的です。
- ✓ 言葉づかい、言葉選びもポイント。予想外の質問が飛んできた時は言葉につまってしまいがちですが、黙り込んでしまわないように気をつけて。



座談会

就活で勝つ人、 ここが違う！



【座談会参加者】〈海洋資源科学科3年〉
伊藤健人、清田純平 〈資源機能化学科3年〉
遠給瑞子、堀加奈永、新谷つづみ、阪本真梨、
佐藤智香 〈海洋資源計画修士2年〉塩田
理絵 〈地域連携水産科学領域修士2年〉
工藤俊彦、森下信人

技術的なことから心構えまで、就職活動を行う上で大切なことはたくさんあります。これから就職活動にのぞむ学生たちと、今年内定を勝ち取った学生達が、就職活動をテーマにトークを繰り広げました。

明確な意志と、自分なりの意見 それを持っている人が光る！

達 今日の面接はとても緊張しました！

伊藤 あまり出合ったことのない特殊空間でしたね(笑)

新谷 修士と学部生は、質問項目や内容って違ったりするものなんですか？

工藤 それよりも、職種による違いが大きいですよ。営業職なら笑顔で話せるか、研究職ならどんな研究をしているのかとか。

堀 女子学生と男子学生で差があることありますか？

塩田 職種にもよると思いますが、今はほとんどないのでは？ 性別よりも、やりたいことを持っている人、自分の考えをきちんと伝える人が、就職活動では光りますよ。

就職活動は自分の世界を広げる またとないチャンスと考えよう

森下 もう志望企業は決めているの？

佐藤 漠然とした方向性はあるんですが、どういったポイントで企業を選んでいったら良いのかわからず迷っています。

達 先輩方は企業を絞り込む時にどこにポイントを置きましたか？

工藤 自分のやりたいことに重きを置く人もいれば僕のように道内での就職を一番に考える人もいますし、人それぞれ。「ここに重きを置くべき」という決まりはないです。

森下 やりたいことがまだ固まっていなかったら、説明会にどんどん参加して、とにかくたくさんの企業を見るべき。その中で、魅かれる企業や職種を選ぶといいですよ。

塩田 なかなか会えない立場の方に会えたり深い話が聞けたりと、見聞を広めるいい機会でもあるので、時間が許す限りいろいろなところを回ることを勧めます。

森下 名簿を頼りに大学全体や北水同窓会に所属するOBのみなさんにコンタクト

を取るのもいいと思います。

塩田 特に食品系は活躍してらっしゃるOBが多いですね。先輩方に志望企業や業界の状況についてお話を聞かせていただくと、勉強になりますよ。

努力は必ず実る めげずに、自分を信じることに

阪本 社会が不景気と言われる中で就職活動はかなり不安なんですけど……。

工藤 でも、誰一人として採らないというわけじゃない。採用される一人に自分がなっていくという意気込みを持つてほしい。企業との相性もあるので、決して自分が劣っているから落ちるということじゃない。絶対自分に合う会社はあるので、友達と励まし合うとか、上手に気持ちを切り換えて、めげずにがんばることが大事です。

塩田 ダメなら進学すればいいと考える人もいますが、それではダメ。就職活動に対してどれだけ真剣になれるかが勝負です。

達 就職活動している先輩たちがどんどん弱っていくのを見ていて(同笑)、なんて辛い戦いなんだと思っていたんですけど、今日の面接は本当にいい経験になりました。

清田 今後に向けて勉強になりました。

森下 意欲はちゃんとあるんだから、あとは自信を持つことだけ！ 企業が求めているのは自分で問題点を考えて、それに対して行動している人。そこを意識して精一杯がんばれば、きっと大丈夫だと思います。



就職支援室からの
メッセージ

キャリア教育の推進・充実に
ご理解とご協力をお願いします

板橋 豊 教授

現在の就職活動は卒業前年度の4月頃からと、かなり早くからスタートします。大学も早期からのキャリア教育を重視し、各種セミナーの開催などを行ってきました。その一環としてOBのみなさまを講師に招いて学生にお話しいただく機会を設けるなど、同窓会にご協力をお願いする取り組みを検討しております。豊富な社会経験を持つOBのみなさまに応援いただくことは、学生が就職活動を進めていく上で大きな支えであり力となります。さまざまな場面で後輩たちへのお力添えをいただけますよう、よろしくお願いいたします。



就職支援室からの
メッセージ

厳しい社会情勢の中
先輩方の「生の声」は大きな力です

能代 久幸 係長

北水生は、OBのみなさまのこれまでのご努力・ご活躍のおかげもあり、全般的に企業からの高い評価を受けています。ここ数年の就職率も100%に近い数字で推移してきました。しかし、近年の金融不安の中で、今年度の採用状況はかなり厳しくなっています。学生にとって苦しい状況となる中、OB訪問は非常に有用な活動です。特に水産や食品系以外の分野への就職をめざしている学生には、業界への理解を深めるすばらしいチャンスとなります。機会がありましたら、ぜひ後輩のために、力を貸していただければと思います。

Hello! 研究室

学生発～

【海と水産の情報を工学する】

木村暢夫 (きむらのぶお) 先生

海洋生物資源科学部門 海洋産業科学分野 教授(博士・水産学)。
1981年本学部特設専攻科修了後、同博士課程に進学。1986年に北海道大学水産学部・漁業学科に助手として採用、漁船運用学の研究に携わる。1991年に助教授、2005年より現職(同教授)。函館市出身。



木村暢夫教授は、海と魚と船と人に関わる水産情報を科学するため新しい研究教育領域を、藤森康澄准(先生)と5年前に立ち上げた。第一線の漁船の安全に関わる国際的な工学的研究の研究者だが、新設救命胴着の開発や漁業現場での研究活動も多く、理論と応用面で幅広く活躍中。

【学部ホームページ情報】

<http://www2.fish.hokudai.ac.jp/modules/article/content0101.html>

羽原…先生の3年後期の水産情報学の授業を受けて、とても面白いと思っていました。先生のところに所属している友人はコンピュータ好きなので、情報に強い人だけが行く領域だと思っ

ていたのですが？

木村先生…私の領域は「情報」ですが、今年から「水産情報・工学」という名前になりました。水産資源を情報面から科学するということが、資源の利用を工学の目線から追っています。例えば網目の大きさを獲れる魚の量や種類が変わるけれど、どんな漁具を使えば持続的に資源を利用・維持できるか研究することはとても大切です。

櫻庭…私は、高校で物理系を選択してこなかったで工学系学科の勉強に不安を感じています。魚の生態とか、他の分野に関連した研究はできるのでしょうか？

木村先生…魚のかなり方や獲れ方は、漁獲データという「情報」を用いるとわかります。魚の行動に関わる情報が大切ですから、工学分野といっても、生物のことも知っておくことは重要なことです。

鈴木…数値シミュレーションとか行っているんですね。なんか難しそうです。

木村先生…数値シミュレーションといっても、計算機は0か1を足し算しているだけだから、式の意味こそが大切。それが分かれば物理や工学に慣れてなくても大丈夫。

安井…私は4年で就職希望なんですけど、研究室の就職先はどんなところですか？

木村先生…情報系や物流系が若干多いけれど、就職や他の業種もたくさんあります。

望月…僕は大学院に進学したいのですが、その場合はテーマの決め方が違うのでしょうか？

同じ講座にいますけど、先生の領域と違う研究室なので迷います。

木村先生…自分の「やりたいこと」が大切。私のところでは4月の配属時に必ずそれを聞いて、自発的に研究テーマを決めます。

羽原…留学生はいますか？

木村先生…今年はインドネシアからの研究留



インタビューを担当した学生たち●今年講座配属のため講座情報を求めている水産海洋資源科学科3年生の女子学生4名と、既に木村先生と同じ講座に配属されているものの木村先生の研究分野に詳しい2名の4年生男子学生。(写真/上・左から小橋亜矢さん、安井桂さん、鈴木未央さん、望月理生さん。下・左から櫻庭麻衣さん、木村先生、羽原智也さん)

学生が来たり、長崎大学へ奉職した博士課程の女子学生もいます。

櫻庭…研究室配属まであと半年しかありません。今から何をしておくべきですか？

木村先生…3年生で配属希望先がある程度決まっているなら、そういうことがしたいか「夢」を増やしておくといい。早めにコンタクトをとって、例えばゼミなどに参加すれば、雰囲気や研究内容がつかめます。

小橋…先生は函館出身ですよね。函館好きになるにはどうすればいいですか？

木村先生…うーん(絶句)。私は地元民だからね(笑)。今年は開港150周年だから沢山イベントがあったりするので、どんどん参加してみたらどうだろう？

望月…先生のお話を聞いていると、研究だけに限らず人脈なども含めて「ネット的な情報」が必要なんだと思いました。

木村先生…先端トピックスを追って実績を積み上げている研究者も多いけれど、私はネットワーク型の研究の方がはるかに最適な仕事ができると思っています。そういう意味では、情報を共有するグループを作って互いに連携することが大切ですね。

鈴木…先生の教室にとっても興味を持ってました。どうもありがとうございました。

食品工場・厨房内の自主検査のお手伝いをします。

HACCP・ISO導入指導及び検証・評価・改善指導

- ★食品の微生物検査
- ★施設類・道具・器具類の拭き取り検査
- ★食品・副資材・調理室内の微生物の除菌菌テスト
- ★食品の賞味期限の設定
- ★保存テストのデータ蓄積
- ★その他衛生指導、社員教育などのご相談をお受けします。

株式会社 キュー・アンド・シー

代表取締役 奥野 和弘 (昭和42年製造) 松原 伸二 (昭和62年化学) 久保 雅俊 (平成12年資源) 佐藤いく子 (平成17年資源)

分析室 〒065-0026 札幌市東区北26条東22丁目6-7 TEL.011-786-8300 FAX.011-786-8266
URL <http://www.qandc-lab.com/> E-mail haccp@qandc-lab.com

追悼寄稿

われらが誇る巨星 中部長次郎氏(17ギ)長逝をこる

窪田光信(17ギ)



氏には今年2月初旬、身体の変調に気づき長崎大学病院で診察を受けたところ食道ガンと診断され、引続き懸命の治療を施したのですが、病勢一気に改まり、遂に3月11日午前7時7分、ご家族皆様に看取られ静かに安らかに黄泉へと旅立たれたのであります。惜しむらく米寿を俟たずして享年87歳でありました。茲に偏にこころからのご冥福を祈念するのみであります。

氏は大洋漁業の始祖、中部幾次郎翁の4番目の孫として父君たる同社中部兼市社長のもと下関で出生されたが、父上の令妹である叔母上に入婚した中部悦良副社長との間に子宝が恵まれなかったことから、幼にして長崎の悦良氏の養子として育かれた。

県立長崎中学(のちに氏は同窓会長となる)から文字通り二つの海峡を渡り母校へ入学したのは昭和15年北国の春であった。

柔道部へ入部し、稽古熱心だった氏は、卒業時3段に昇段する腕前になっていた。戦後社会人になってからも柔道への情熱止み難く研鑽を重ね、遂に天晴れ同窓には余り類を見ない5段に達した。そして万能スポーツマンであった氏は、ゴルフにも造詣深く、長年にわたり長崎国際ゴルフ倶楽部の理事長も務められた。

本科2年へ進級して北晨寮を去り谷地頭の下宿へ転住してからは、立待岬に程近いこともあり、夏場は良くて泳ぎ廻り、特に20メートル余の高さの断崖からダイビング選手宜しく一気に飛び込む荒業を平気でなし、並る者を驚かせる豪胆さであった。遠漁に進んでからの冬の休日には、雪に無縁の南国長崎では目にしたことのないスキーにアタックし、早朝スキー列車を七飯駅で下車すると、横津のヒュッテへ舊地に先頭切つて登り、雪国育ちの小生でも歯が立たない頑張り屋で、時には上半身のシャツをかなぐり捨ててストックをさばくこともあった。昼食のニギリ飯にかぶりつき小休憩のち下山に及ぶが、これが悪戦苦闘で急斜

面では尻餅ついて転倒を繰り返したが決して怯むことはなかった。

遠漁の座学1年間が済むと社船実習が課せられた。小生は氏に頼んで大洋漁業のトロール船へ乗船したが、氏はあえてライバル会社日本水産の捕鯨母船南丸に乗船したもの、昭和19年2月南支那海において米潜水艦の魚雷攻撃を受け一瞬にして沈没し、海原を漂流し続けたが、氏は幸いに掠り傷つない九死に一生を得た。その時小生は冷凍船に転船していたので、氏は残りの実習は小生の乗っていたトロール船に孜孜として卒業まで乗船し続けた。

当時の遠漁は海軍予備員制度の直前だったので、集つて海軍予備学生の航海学校を選出したが、氏は勇猛果敢にも最も危険度の高い飛行科の土浦航空隊へ入隊する。われわれは二様に驚いたが、むしろその雄志を称えあつた。

そして終戦。無事帰省した氏は早速に疲弊した会社業務に精勵し、長崎支社の漁業部を執り仕切り、順調な滑り出しを見せ同社常務取締役役に就任した。

程なくして病院長のご息女で、県立長崎高女を最優等賞で卒業された才媛を令室に迎えられた。ここにおいて氏は名実共に長崎県民としての軸足のもと、眼を内外の分野に転じ、長崎商工会議所会頭として、長崎魚市の業況拡大、また長崎旅博覧会開催の運営に進んでかわり成功させ、中国福州間の定期貨物航路開設の貿易国際交流、福祉などへ全力を振り絞り尽瘁された。特に長崎シンガポール・マレーシア協会会長を18年務め、長崎大学とシンガポール国立大

学の医学研究交流の糸口になったほか、マレーシア留学生への支援が評価され国王から勲章を授与され同国との懸け橋となった。一方では長崎県公安委員長を務め、その時発生した長崎バスハイジャック事件を迅速果敢に指令し、犯人逮捕に至ったこともあり、昭和60年藍授褒章、平成6年勲三等瑞宝章の榮譽に輝いた。

純粹で心優しい氏は同窓に慕われ、長年にわたり同窓会長崎支部長を、さらに北水同窓会会長をお務めいただき、会の発展にご尽力いただいたことは特筆に値する。

私事で恐縮ですが、小生が社船の定期ドックの監督で東京から長崎の造船所へ出張した折、無事完了の旨ご報告を兼ね会社へ表敬訪問したところ、40近い独り身を不憫に思われた氏から縁談の嬉しい話がかつた。畏まり同夜氏の邸宅において見合いがとり始められたが、小生は高圧電線に触れたが如く5分で快諾し、翌年春の同地での挙式には仲人の大役までお願いするに至った。

思えば爾來今日まで約70年、公私にわたり多大なるご高庇をいただいた氏に向い、こころから幾重にも万斛の感謝の誠を捧げる次第であります。

氏の告別式は3月14日、長崎市光町の平安社長崎斎場本館でしめやかに営まれ、金子長崎県知事が生前の氏の功績をたたえ、敬意を表する弔辞に続き約500人の参列者が焼香し、手を合わせてご冥福を祈った。

法名 慈性院殿済清風長徳大居士
ご遺族は長崎市平野町26・16・505
中部 峯世雄

弦々(29ギ)逝く

郡山泰夫(30セ)

大学、社会人とラグビーで鍛えた体もガンには勝てず、喜寿を迎えたばかりの弦巻秀年さん、4月30日福岡で逝去されました。昨年4月、終の棲家としていた兵庫の猪名川から三男の住む福岡に移り、在宅のまま治療に専念されていました。

この3月、医師の紹介でホスレス病院に入院、クリスチャンである奥様の勧めと、又、自らも安らぎを求めて院内で洗礼を受けられましたが、残念ながらその3週間後に静かに旅立たれました。

福岡市のリゾート地である「海の中道」の教会で多くの方々にも惜しまれ、安らぎの賛美歌に包まれての昇天でした。

ゴールデンウィークの最中、北大同期の小野さん夫妻も仙台から駆けつけ、又、私同様に旧日魯の同僚達も数人が参列し、お別れを申し上げました。

私は函館では1年後輩でしたが、職場を通して半世紀以上に亘って家族同然のご交誼を頂いたので、奥様のこ心痛をお察しながら、3人の息子さん達も親父の足跡にあらためて敬意を表していました。

昨秋、私の誘いで長崎市外海の隠れ切支丹の史跡巡りに同行され、初めて讃美歌を合唱する等、お互い予期せぬ旅路でしたが、今振り返りますとこの旅が闊病生活の限界を悟り、入信を決めた時期だった様です。洗礼時に書いた「信仰告白」に「救い主イエスの手にある、身はいとも安し」との讃美

歌の一節が、今の心境だと記されていました。最後迄(One for all, All for one)「ラグビー精神に培われた人生訓を歩んでいた弦巻大兄のご冥福を心からお祈り申し上げます。

竹田正之君(31セ)の死を悼む

羽田野六男(31セ)

竹田正之君は平成20年10月12日、74歳の生涯を閉じられました。奥様のお話では20年2月に多発性リウマチで体が不自由になりましたが、5月にはゴルフ、庭仕事、屋根のペンキ塗りなどもできるほどに回復。

9月には今年6月に小樽で開催する31年卒の同期会の世話役として打ち合わせなど準備に張切っていたとのこと。9月末になって肝機能障害で入院、入院中に肺炎を併発、10月12日朝6時54分急性心不全で亡くなりました。あいにく12、13日は連休中のため内輪のような葬儀になつてしまい、同期生はお別れもかなわず、今でも悔やまれてなりません。

竹田君は昭和8年12月、かつてニシンの石場所浜益村(現石狩市)に生まれ、潮気いっぱいの子育ち。そのせいか昭和27年4月北大水産類に入学、31年3月水産製造学科卒業。直ちに日魯漁業(株)に見習社員として入社、北洋サケマス母船明晴丸で製造加工に従事しました。32年4月からは宗谷支庁水産課勤務をスタートに水産行政の道を歩むことになりました。水産部では

主幹、課長、技監などを歴任し、海洋法対策、北方海域の安全操業などを手懸け、漁業者のために卓越した力量を発揮しました。根室支庁長当時はソ連漁船による漁具被害対策また北方領土返還運動の裏方としても活躍しました。62年水産部長に就任してからは道の水産行政のトップとして、今は何をなすべきかとの信念をもとに水産業界をリードしてきました。

平成4年4月に道庁を退職してからは、全国共水連北海道事務所副所長に、また兼務した(株)水共社社長として、漁業者の共済保険事業にも尽力しました。さらに道内水面漁場管理委員長も務めました。16年春には水産振興の功績により瑞宝小綬章を受章しました。

一切の公職を退いた後は悠々自適の日常でしたが、傍らカンバック・サーモン運動の原点となった北海道サケ友の会(現北海道サーモン協会)で木村義一会長(30ゾ)のもとでボランティア活動「すじ。まさに水産が人生でありました。

竹田君のエピソードとしては、平成元年秋の国体天皇・皇后両陛下が「来道。その折道立水産孵化場を見学。水産部長の彼は「私は陛下のご誕生月と同じなので、特に親しみを感じます」と調子よく申し上げ、サケマスの増殖について説明。ところが陛下の「質問が専門的(？)なので立往生。逆に魚類学者の陛下が助け舟で冷汗。後日ススキノの居酒屋で彼は「陛下も人がわるいよ」と私に告白。

平成6年秋には北海道サケ友の会のサケ学習国際交流の旅カナダに誘われ、私と中

豊富な実績と万全な体制でさらに前進をつづけます。

NAKAYAMA MEDICINES CO. LTD



株式会社 中山薬品商会

代表取締役社長 中山浩一

本社 ☎040-0075 函館市万代町20番10号
PHONE (0138) 40-6275・FAX40-3939

釧路営業所 ☎084-0903 釧路市昭和町2丁目15番地3
PHONE (0154) 52-4101・FAX52-4103
<http://www.nk1.jp>

島政夫君(31エ)も一緒に参加した。アダムス川のベニサケ産卵場の脇の立札に「BORN ORPHANS, DIE CHILDLESS」(サケは孤児として生まれ、吾が子を見ずに死に到る)と記されているのを見て、彼とサケの一生を言い得ていると感心したこともありました。

また現地の歓迎パーティーで、竹田君は何かやらなければ日本の恥だと言ひ、中島君の即席指導を受けてねじり鉢巻で沖揚音頭を公演(?!)、喝さいを得たことなども彼の在りし日の想い出となつてしまいました。

竹田君は北海道の水産行政マンとしての手腕は第一級。また飾り気がなく気さくな人柄の持主。それ故皆から愛されていた君。こんな君は私にとって大切な友。それだけに惜別の情は尽きません。卒業以来52年にわたる君の友情に改めて感謝。竹田正之兄よ安らかに眠り下さい。さようなら。

全日本レガッタ

エイト優勝クルーの一人

萩原義男君逝く

2009年5月9日多臓器不全74歳

小泉 守(32セ) 三弊英雄(32エ)

1953年、当時理学部触媒研究所長で北大ボート部部长堀内寿郎教授の率いる北大エイトクルーが彗星の如く現れ、翌1954年には全くの下馬評を覆して全日本で優勝しました。

萩原君は4番を漕ぎ、そのエイトクルーの一員でした。そもそもエイトは貴族のスポー

ツ英国の名門ケンブリッジ・オックスフォード大学が世界の頂点でした。日本では東大・橋大・早大・慶大が中心で、英国式設計の大型艇を使っていました。

堀内教授は欧米人との体重差@20kgある日本人の体格に合ったボートオール等の機装を設計し、理にかなった漕法で指導されました。

英国からケンブリッジ大学クルーを迎えた試合当日、埼玉県戸田のコースは無風のデットコースで天も味方しました。あれよあれよと云う間にミズマシ北大ボートエイトは優勝しました。

当時応援団長だった高根任(タカネツカサ)君は75歳迄仕事をしていました。あの時の感動が有ったから俺は燃え尽きる迄仕事できたと言っています。

北大ボートは今想えばボートレースの艇と装備に制限のない重厚長大から漕手の体格にあつた艇と装備への日本技術の先駆者でした。

萩原君は卒業後深田サルベージ建設(株)に入社し、船舶サルベージ事業に従事の中に(有)邦隆貿易を設立しその代表取締役で水産物の輸入販売を行っていました。ボート部で鍛えた「堅忍不拔」の精神で努力をして来ましたが天命の尽くす所新たな旅立ちの途についたのであります。

クラーク先生は在任僅か9ヶ月で日本国と北大にも歴史を残されました。

北大スポーツの部で後にも先にも無い優勝の歴史を残した男!!

永遠に安かれと祈るのみ 合掌

2009年5月20日

シヤイな反骨児 阿部俊郎君(45エ)逝く

内藤義和(44エ)



五稜郭の桜にはまだ早い3月23日、阿部俊郎君は帰らぬ人になってしまった。

享年63歳、まだ天寿を全うしたと言える年齢ではない。

彼とは随分長い付き合いでした。教養時代がその始まりで、以後遠洋漁業学科(株)極洋、海上保安庁とは40年もの時を共にしてきました。

彼と最後に会ったのは、今春3月5日同期の松浦光紀君が来函したおり、両館在住の阿部君、高橋豊美君、それに私の4人で会食した時になります。その時はなんの変りもない様子で、大沼に家を建てた時の苦労話などを、楽しそうに話していました。会食後阿部、松浦両君が、同期入学の飯野君が経営する焼き鳥屋「よしの」へ行くと言うので、私が送って行き、いつものように「じやーな」と言つて別れました。

そのわずか4日後、阿部君から携帯電話があり「入院したので、10日後の同期会に出られなくなった」とのこと、で、「どうしたんだ」と尋ねると「脑梗塞だ」とのことでしたが、言葉もはつきりしているし、幸い早期

いま豊かな食生活。
見直しましょう魚のある暮らし。

青森市中央卸売市場

中水

青森中央水産株式会社

代表取締役社長 石川 栄一

〒030-0183	青森市卸町1番1号
鮮魚部	TEL 017(738)1281
冷凍部	TEL 017(738)8221
塩干部	TEL 017(738)5511
加工部	TEL 017(738)6581
企画部	TEL 017(738)1281
管理部	TEL 017(738)1181

ホームページ <http://www.aochuu.co.jp>

発見で入院したのなら心配ないだろうと思い、「そのうち見舞いに行くよ」と言って電話を切りました。同期会の前日3月19日、仲間と彼の様子を報告しなければと、軽い気持ちで病室を訪ねたところ、彼は既に意識がなく危篤状態で、かなり苦しそうにしていました。耳元で何回か呼びかけましたが応えてはくれませんでした。このいきさつを翌日の同期会で報告したところ、同期達が励ましに行ったのですが、それまで頑張っていたかのように、その2日後の3月22日朝、阿部君は奥様、お母様らに見守られ旅立ちました。

奥様にうかがったところ、最後は安らかない顔をしていたそうです。

彼は寡黙な人でしたが、決して人間嫌いと言うわけではなく、むしろさみしがり屋だったのだと思います。シャイな性格で反骨精神旺盛な正義漢でした。山と川、それに奥様をこよなく愛し、キャンピングカーを持つたり、大沼の自然の中に家を建てたりし、充実した人生だったと思います。最後も彼らしくあつさり通つてしまいました。

先日高橋君と二人で、お宅を訪ねましたが、奥様は悲しみと戦っておられる様子で、沈む気持ちを一生懸命に抑えておられるようでした。

奥様から、お見舞いに来ていただいた皆様に、くれぐれも宜しくお伝えくださいとのことでした。合掌

親潮インフォメーション

会員死亡通知

高木 徹(元教官)	平成21年	4月13日	北海道新聞より	関 輝男(25キ)	不明	間山郁三(25教キ)様より
町田 秀二(73)	平成21年	4月26日	ご家族様より	沼崎弥太郎(25キ)	平成21年	5月12日 阿部周一(46ノ)様より
成田 幸雄(14キ)	平成21年	4月19日	田中満穂(29キ)様より	本間 登(25キ)	不明	間山郁三(25教キ)様より
三浦 義良(163)	平成21年	2月14日	ご家族様より	須佐 昭夫(25教キ)	平成21年	1月 5日 宮川芳明(25セ)様より
志村 俊夫(16キ)	平成20年	12月25日	ご家族様より	金子 繁(25セ)	平成21年	2月 9日 村井太郎(50キ)様より
出野 三郎(173)	平成21年	3月8日	ご家族様より	川上 弘(26教キ)	平成21年	1月30日 ご家族様より
橋田 利一(173)	平成21年	2月12日	ご家族様より	村岸 勝郎(26セ)	平成21年	6月14日 穴澤 邦雄(26セ)様より
細木 忠義(173)	平成21年	4月30日	石川佳男(53化)様より	石山 正高(26教セ)	平成20年	12月27日 穴澤 邦雄(26セ)様より
池田 富蔵(17キ)	平成21年	5月 4日	窪田光信(17キ)様より	福島 菊夫(28ノ)	平成21年	7月 2日 原 彰彦(46ノ)様より
中部長次郎(17キ)	平成21年	3月11日	窪田光信(17キ)様より	弦巻 秀年(29キ)	平成21年	4月30日 郡山泰夫(30セ)様より
日野 篤夫(17セ)	平成21年	5月19日	ご家族様より	城所 清一(29セ)	平成21年	3月 7日 岡川 伸(29セ)様より
田中 江(183)	平成20年	12月24日	森 有意(19セ)様より	佐藤 勲(30ノ)	平成20年	11月 原田 久(30キ)様より
遠藤九八郎(18キ)	不明			安野谷 廣(31エ)	平成20年	6月30日 ご家族様より
早田 弘(18キ)	平成21年	3月30日	山本忠雄(19キ)様より	荻原 義男(32エ)	平成21年	5月 9日 小泉 守(32セ)様より
中島 浩(18セ)	平成20年	12月22日	高橋豊美(44エ)様より	中村 寿(36キ)	平成21年	6月 8日 石川光男(36セ)様より
関本 隆(20キ)	平成21年	1月31日	ご家族様より	佐藤 忠三(38キ)	平成21年	5月24日 東海林正樹(38セ)様より
土田日出男(20セ)	平成21年	2月21日	ご家族様より	宮島 均(41キ)	平成21年	4月 9日 ご家族様より
大根田正雄(20ノ)	平成20年		ご家族様より	鶴見 忠(43エ)	平成21年	4月11日 四方 純(43食)様より
中川 政吉(22セ)	不明			阿部 俊郎(45エ)	平成21年	3月23日 高橋豊美(44エ)様より
谷 英幸(23キ)	平成21年	7月 9日	ご家族様より	安部 清悦(45キ)	平成21年	1月24日 山本勝太郎(42キ)様より
鈴木 梅二(23エ)	平成21年	3月12日	ご家族様より	木本 喜幸(49食)	平成21年	6月19日 竹田信一(49食)様より
大槻 俊秋(23ノ)	平成21年	6月 8日	行友恭一(23セ)様より	落合 信之(55化)	平成21年	3月 3日 川合祐史(55食)様より
矢萩 静也(24ノ)	平成20年	8月21日	ご家族様より	植野 泰(61キ)	平成21年	2月26日 古閑直之(60キ)様より
吉沢 三男(25エ)	平成20年	1月22日	ご家族様より	難波 雅則(H1キ)	平成21年	7月15日 高津哲也(63キ)様より
佐藤 忠勝(25キ)	不明		間山郁三(25教キ)様より			

(有)山本食品研究所

山 本 巖(20セ)
山 本 津 彦

〒914-0812 福井県敦賀市昭和町2丁目2316番地
TEL (0770) 23-0297(代)
FAX (0770) 24-2882
E-mail y-f-labo@angel.ocn.ne.jp

退職のごあいさつ

同窓会名簿が継続され
同窓のネットワークが
一層強まることを願う



高橋豊美 (44歳)

昭和49年に水産学部助手に採用されて以来、35年の歳月が過ぎ、本年3月末日を以て定年退職いたしました。無事この日を迎えることができましたのは、これまでご指導を頂いた先生方、何かつ協力頂いた同僚、事務部の方々、研究室の学生・院生諸君のお陰と感謝いたしております。

同窓会本部の仕事には、これまで4回携わりました。1回目は組織部で、作業のため会員名簿作りは大変でした。2回目も組織部で、コンピュータによる名簿作りを始めた年で、故見上隆克先生が大変ご苦労されました。3回目は庶務部でしたが、有能な猪上徳雄先生に任せきりになってしまいました。4回目は猪上幹事長のもと、副幹事長としての仕事でした。当時名簿の広告収入が少なくなっていましたので、広くお願いをしました。もとより私の力だけでは足りないので、嵯峨直恒先生(特

別会員)はじめ学内の先生方、同窓の方々にはご助力を頂きました。改めてお礼申し上げます。

一昨年は水産学部創基100周年にあたり、記念式典委員長として式典と祝賀会を担当しました。至らない点もありましたが、一切の苦情がなく、同窓各位の寛容なお心に感謝いたしております。関連行事委員長の芳村康男先生(特別会員)はじめ多くの先生方、江刺家勝己事務長はじめ事務部の方々には多大なご支援ご協力を頂きました。

同窓会名簿を冊子体として継続するかどうかという議論が内部にありましたが、やはり今後も継続してほしいと思っています。名簿を活用し、同窓のネットワークが一層強まることを願っています。

水産動物学講座の
発展の流れの中で
大変に幸せな35年間



仲谷一宏 (43歳)

本年3月に定年退職を致しました。私は1964年(昭和39年)に北海

道大学に入学、1974年(昭和49年)に助手として採用され、水産学部と大学院水産科学研究院に35年間勤務しました。

私の専門は魚類学ですが、そもそも父と一緒にフナ釣りに行き、釣ったフナの眼に一目惚れをし、北大に入学をしたのです。最終的には軟骨魚類の研究に挑戦することになり、35年間、多くの軟骨魚類の研究に携わることができました。中でも大混乱していたヘラザメの分類や、シュモクザメ、ホジロザメ、メガマウスザメ、ミツクリザメなどの進化、生態、機能形態などに一定の成果を上げることができたのではないかと思います。

35年間、もう一つ努力したことは、海外との交流でした。最初の海外行きはアルゼンチン・パタゴニア沖の漁業調査でしたが、この航海は太平洋、大西洋、インド洋を横断する半年間の地球一周航海で、私の世界観を変えた出来事でした。当時は海外渡航には相当の覚悟が必要で、教官旅費も海外旅行には使えない時代でした。在任中は、海外の研究者と多くの交流をもち、海外に出たときには、帰国後その結果を大学に還元する様なことをやってきました。中でも、文部省在外研究員として、アメリカの

スミソニアン研究所での長期滞在を経て、アイスランド、ノルウェー、東ドイツ、スペイン、ポルトガル、インドなどヨーロッパやアジア各国を訪れた10カ月間は、その後の研究の基礎固めをすることができ、世界に多くの魚類学友を得た素晴らしい期間でした。また、アフリカ・タンガニイカ湖の魚類研究のチャンスにも恵まれ、ザイル、ブルンディ、ザンビアなど湖周辺諸国でのアフリカ生活を経験し、現地の人々とも交流を深めることができました。

もう一つ35年間頭を離れなかったことは、魚類標本のことでした。講座の隆盛と共に標本数が劇的に増加、その維持管理が常に頭痛の種でありました。講座費をつぎ込み、学生諸君の協力や学部の援助で何とかやってきましたが、私の定年直前に総合博物館に標本の全てを移管することができたのです。これらの標本は北大の研究を支え、今や世界の研究者が注目する研究のベ이스となっており、長年背負ってきた重荷を肩からおろし、退職を迎えることができました。

そして、水産動物学講座(現在は海洋生物学講座・魚類体系学領域)の成長・変化・発展の過程をつぶさに観察し、講座が日に日に力をつけ、発展していく流れの中に身を置くことができた、大変に幸せな35年間でもありました。

北大水産学部、水産科学研究院での生活を振り返ると、私なりの充実感をもつて退職を迎えることができたと考えております。これは、この間に皆さまから頂いた様々なご支援、ご厚情の賜物に違いありません。最後に、皆さまのご健勝と水産学部、水産科学研究院の更なる発展を祈念し、お礼と退職の挨拶といたします。

ともに歩んだ日々。かけがえのない時間。数々の思い出を胸に…。

本年3月に退職された先生方から、同窓の皆さまへのメッセージを頂戴いたしました。ご紹介いたします。

これからは函館地域の
産業振興やまちづくりに
微力ながら貢献したい



三浦汀介 (45才)

私が昭和46年8月、幸運にも母校に勤務することになったのは、漁具漁法学講座の金森政治教授の退官にともない人事が起ったからです。それ以前は、民間の島田理化学工業株式会社に勤務し、マイク口波・超音波機器の開発に従事していました。そのような理由で助手時代は、システム工学に関する学問に興味をもち、それらと水産学の融合を夢見ておりました。

80年代後半になりますと自動制御に関する学問分野の研究者が環境問題の解決にシフトしていきます。そんな中で、私自身も90年代初めにゼロエミッション研究に従事することになります。このような状況から大学における後半の研究は、ゼロエミッションや水産業の持続可能性に関するものを中心となりました。

この間、最も印象的な出来事は、函館キャンパスにおいて平成19年にとり行

われた創基100周年記念事業です。私にとって、定年2年前に、これを体験することができたことは誠に幸せなことでありました。この記念事業に触発されて、水産学部は、事業の一環として北海道大学出版会より教科書シリーズを発刊することになり、第1巻として拙書「ゼロエミッションと新しい水産科学」が刊行されました。このことは、これまでの大学生活の中で、私にとって、もっとも嬉しい出来事となりました。

現在は、北海道立函館工業技術センターに勤務し、函館地域の産業振興やまちづくりに微力ながら頑張っております。このたび、文部科学省の知的クラスター創生事業（グローバル拠点育成型）が採択され、この事業の事業総括を引き受けることになりました。概略を紹介すると、これは道と函館市ならびに地元の研究機関が中心になる水産を核とする大規模クラスター事業です。年間3億で5年間継続する、全体で15億になるこの事業は、函館地域の発展に必ず大きく貢献するものと確信いたします。

水産学の社会的使命を考えると、循環的で持続的な社会へのシフトを念頭におき、持続可能な水産業の発展を支えることが基本的な課題であります。退官にあたり、このことをあらためて確信するとともに、皆様に対する感謝と北海道大学水産学部のますますの発展を願って挨拶と代えさせて頂きます。

編集後記

平成21年度「親潮」第1号（通算293号）をお届けします。今回は例年より発行が遅れてしまったことを深くお詫び申し上げます。昨年末からの急激な経済悪化に伴い、学生の就職も大変厳しい状況となっております。そのような背景を踏まえ、今号では北水生の就職活動特集いたしました。また、「練習船おしよろ丸就航100周年」の特集は次号で行う予定です。

ご存知のように、「親潮」は平成19年度の289号から紙面を全面改訂いたしました。「今、水産学部で何が起っているか」などの情報発信に特に力を入れるとともに、同窓の幅広い世代と現役北水生をつなぐ双方向的な媒体となるべく、現在その方法を模索中です。そのため、必ずしも投稿していただいた方のご希望に添える編集が出来ないこともございますが、どうぞ趣旨をご理解いただけたらと存じます。

今年度第2号（通算294号）の原稿締め切りは平成21年12月28日（必着）です。寄稿につきましては郵送もしくは電子メール（hokusui@hokweb.jp）にて受け付けております。同窓生の皆様にはこれまで通り「親潮」に多くの原稿をお寄せいただけるようお願い申し上げます。

（編集幹事／山下成治）

親潮投稿規定

【寄稿】

一つの投稿につきA4版・1ページ（2000字程度）までとする。この制限以上の長文あるいは連載を希望される場合は2号分までとする。写真を入れる場合、その分の文字数が減る。また、写真はホームページに掲載することもできる。

【支部・会員より、会員の受賞、ご案内など】

一つの投稿につきA4版・1ページ（2000字程度）までとする。この制限以上の長文あるいは連載を希望される場合は2号分までとする。写真を入れる場合、その分の文字数が減る。また、写真はホームページに掲載することもできる。

お知らせ

北水同窓会では、函館で開催される「同窓会」に対して、申請により5,000円の補助費を出しています。この場合の「同窓会」とは、学科や卒業年度などのまとまった枠を持つものの会合を指します。補助を受けた場合は、会合後、親潮に同窓会報告の原稿を提出していただきたく存じます。また、会合時に会員の住所変更届けや出席者の同窓会会費の集金もお願いしています。詳しくは同窓会事務局までお問い合わせください。

奇妙な姿の 深海魚たちが大集結!



特異なパーツごとに260種の深海魚を分類・解説し、
300点超の貴重な写真を収録した初めての本格的な深海魚の解説書!



本書の 特徴 ① わかりやすい分類

科目ごとではなく、特徴的なパーツごとに深海魚を一から分類しました。

本書の 特徴 ② 今までにない 本格的な記述と解説

今まで一般には公開されていなかった深海魚の特徴や生態を、最新の資料に基づいて詳細に解説しました。深海魚の面白い機能は図解しています。

本書の 特徴 ③ 雑学としても 面白いコラム

解説欄だけではおさまりきれない面白いトピックは37のコラムとして紹介しています。

朝日新聞(6/2付)「天声人語」、
読売新聞(5/10付)「本よみうり堂」
などで紹介!!



『深海魚—暗黒街のモンスターたち—』

尼岡邦夫=著 定価3,800円(税込) B5判/224ページ
ISBN978-4-89308-708-9 ブックマン社=刊

著者略歴

尼岡 邦夫 (あまおか くにお)

1936年生まれ。京都大学大学院農学研究科水産学専攻博士課程修了。農学博士。北海道大学名誉教授。
日本魚類学会名誉会員。アメリカ魚類・爬虫類学会外国名誉会員。専門は魚類学、魚類分類学。



お近くの書店及び電話かFAXにてお申し込みください。なお、配送ご希望の場合、代引手数料380円を別途ご負担いただきます。

この本に関するお問い合わせ

株式会社ブックマン社 〒101-0065 東京都千代田区西神田3-3-5
TEL: 03-3237-7784 FAX: 03-5226-9599 <http://www.bookman.co.jp>

食文化の急速な国際化に伴い水産総合商社を目指す道水



株式会社 道 水

代表取締役会長 高 野 洋 藏

(昭和24年製造科卒業)

代表取締役社長 高 野 元 宏

水産物卸売及び加工販売、水産物輸出入、冷凍冷蔵倉庫、不動産賃貸業

本 社 函館市豊川町27番5号 TEL(代)0138-22-7136 FAX 0138-22-3777

事業所 はこだて工場(北斗市)

東京・札幌・長岡・能登・韓国釜山

Good quality
Global network
Goshoku



世界のおいしさを日本へ、日本のおいしさを世界へ。

「水産物」「食」の総合企業として、グローバルな事業展開を進める私たち合食グループ。世界各地の高品質な原料調達から激しく変化する消費者ニーズに基づいた業務用・市販用加工食品の開発まで、様々なチャネルに向けた魅力ある商品をご提案します。

「合食」は、3つの機能の相乗効果でお客様の様々なニーズにお応えします。

メーカー機能

商社機能

市場流通機能

株式会社 合食 www.goshoku.co.jp

奥尻町稲穂沖 ミズダコ産卵巣オクトム



オクトム

島牧村 FP魚礁内部のマダラ



本社：東京都中央区銀座3-8-13
TEL：03-3561-3051
<http://www.kaiyodoboku.com>

石狩市浜益沖 FP魚礁に集まるソイ類



FP魚礁

海洋土木株式会社

代表取締役 小関良二
取締役相談役 鈴木和三 (38ゾ)
取締役札幌支店長 川眞田憲治 (48修増)
札幌支店部長 村井和明 (59ゾ)

常務取締役 眞田篤弘 (48化)
青森営業所長 青山禎夫 (39ゾ)
技術部課長 日和久典 (平6キ)

交通、医療、労働災害事故・会社再建、倒産
サラ金破産、債務整理・個人再生・相続、遺言

法律相談
30分 5,250円
サラクレ相談無料

吉原法律事務所

札幌弁護士会 弁護士 吉原 美智世
(昭和 48 年増殖学科卒業)

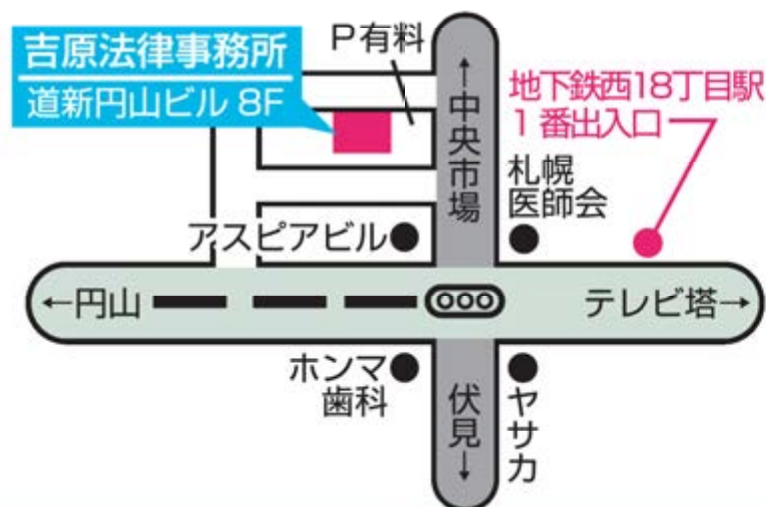
お気軽にお問い合わせ下さい

TEL 622-7963 FAX 622-8414

札幌市中央区大通西20丁目2-20(道新円山ビル8階)

(交通) 東西線西18丁目地下鉄1番出口

(E-mail) lawyer@yoshihara-lawoffice.jp



営業時間においでになれない方はご相談下さい。